

# かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 5 No 12 5 3 号 平成9年12月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

## 個性とは？ しつけとは？

院長

東北放送の『すこやかさん こんにちは』で、「個性とは？ しつけとは？」(11月29日)をご覧になった方もいるかと思いますが、この番組は、県教育委員会の家庭教育子育て推進事業のひとつです。

どうして、医師の小生が「個性とは？ しつけとは？」を話すことになったのでしょうか。テレビ部会には、小児科医、幼稚園園長、保健婦、大学助教授の計6人で構成されています。まずその年1年のテーマ及び番組に内容の検討から始まります。小生はテレビ部会の部長をしているのですが、診療でもわかるようによくしゃべります。たまたまその番組を検討していたところ、「それなら川村先生に話してもらったら」の一言で決まってしまったのです。従来は小児科医は病気の話、教育や心理の先生が他を担当ということになっていたのですが、今回はどういうわけかそうってしまったのです。

東北放送のディレクターも小生も、とんと困ってしまいました。いろいろ番組を検討していくうちに、視聴者から質問という形で、問題点をあげてもらおうということになりました。小生も外来の中で、しつけについての相談を受けることがあります。専門家ではありません。しかし医療を通して、お母さんやこどもの姿はたくさん見えています。そこで実際の問題に答える時間を長くしたのです。

医学の話をするときは、原稿も軽く作ってほとんどアドリブのような形でしゃべるわけです。しかし今回はそういきません。結局原稿までしっかり作って、読む方法をとることにしました。前に話しましたが、この番組は編集をしないのが原則です。カメラハ(カメラリハーサル)を行って、その後すぐ本番で、やり直しができないのです。今回はカメラハでも時間の調節がうまくいかず、もう一度内容を検討して本番という形になりました。アナウンサーの郡さんの腕で何とかうまく行った次第です。下ばかり向いていたようで、

今回はいつもの2倍も疲れてしまいました。

内容は、しつけとはこどもの持っている個性を上手に伸ばすための手助けであること。「よい子」を作るのが、目的ではないこと。意識的しつけと無意識的しつけがあり、しつけは言葉で行うものとは限らないこと。意識的しつけには、時期があること。痛みが必要なこともあるが、愛が基本にあれば許されること。親の個性を受け継いでいるのが基本なので、どこかには「私に似て...」、という妥協点を持つことも必要。ということと、保護者の具体的な質問に、答えました。

今回のことでありがたく思ったのは、当院の患者さん達の協力でした。この番組のために、東北放送からの依頼が届きました。当院の割当の20通以外に、他の施設を含め全部で100通のお願いをしたようです。ところが戻ってきたのがわずか20通でした。他の施設からは80通中10通、当院では20通中10通で、全体の半分を占めていました。この番組の内容では、相談が集まらなければなにもできません。ディレクターも安心し、小生は東北放送でも鼻高々でした。こんなふうに診療以外でも、お母さんたちに支えられていることを、またしても痛感してしまいました。

青葉区の小山さん・武田さん、泉区の成田さん・藤田さん、宮城野区の稲荷田さん・加藤さん・草刈さん・今野さん・佐々木さん・羽田さん(区別の五十音順)、ご協力ありがとうございました。

先日ディレクターの原田さんから連絡を頂き、視聴率4.7%と今期中で最高というお褒めを頂きました。見てくれたお母さん、ありがとうございました。



## 年末年始休暇について

12月30日(火)～1月4日(日)

まで、年末年始休暇となります。

なお、12月29日(月)は、18:00まで通常どおり診療いたします。

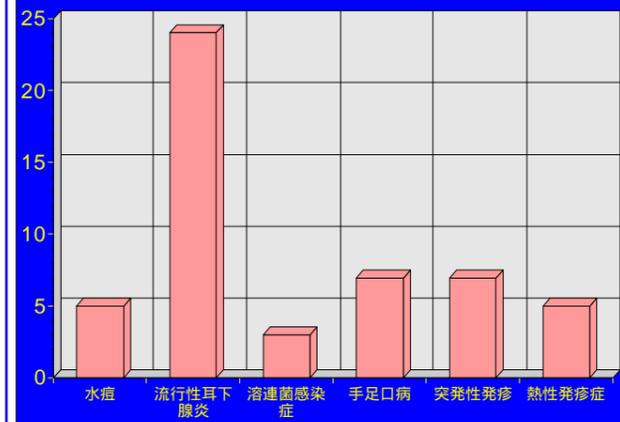
皆さまには、大変ご迷惑をおかけしますが、ご了承お願い致します。

## 読者の広場

今回も幾つかの投書を頂きありがとうございます。宮城野区のTさんからは、クリニックの前での駐車に関して「パカヤロー、とっと止める！ウインカーもつける！」とどなられ、思わず子どもの前でどなり返したことの反省と、いやな気持ちになったことが病院に入ってスタッフと話をし、すっきりしたことなどが書いてありました。相手はもちろん当院の患者さんではありませんでした。**くれぐれも事故には気を付けて下さい**。また利府町のRさんからは、「いつもお世話になっております。今日は、友人を連れてきたにもかかわらず、「よろしくお願いします」の一言も言わず、失礼しました。以前から相談というかはなしを聞かされていて、お母さんの方もかなりの痛みを感じているようなので、よろしくお願いします。」を頂きました。よろしくお願いしますと言わなくても大丈夫です。相手から見れば、とても言いお友達を持っていてよかったなと思います。もう一つ青葉区の2児の母さんから、お世話になっているお礼と「やっと名前を覚えて、子どもも馴れたころ、また新しい看護婦さんになっているので、少々戸惑ってしまいます。先生のところでは、転勤があるのですか？病院の仲間のお友達の中で、いつもその話題になってしまいます。余計なお世話かと思いましたが、他の人も思っているという事なので、つい書いてしまいました。どうもすみません。」と診察室に入るときの状況について意見を頂きました。前にも書きましたが、確かにここの看護婦さんが変わって、皆さんにご迷惑をおかけして申し訳ありません。当院では転勤があるのです。なんて冗談ですが！、それぞれの都合が重なったり、理由もわからなくやめたりと、一番心を痛めているのは院長です。(自己弁護しているようで、申し訳ありません。)でも『かわむらこどもクリニック』であることは間違いありません。こういう投書もどしどしお願い致します。最後に「ちょっと文句を言っちゃいましたが、これからもよろしくお願いします」と書いてあったので、ホッと安心しました。

「個性とは？ しつけとは？」では、**当院の患者さんの多大なる(ちょっと大げさですか?)協力ありがとうございました**。番組作成上内容も全て小生も読ましてもらいました。幾つかは番組で回答しましたが、あまり日常診療上で話題になるものではありませんでした。お母さん方が病気以外のことにも様々な悩んでいるのだと、改めて認識しました。どんな問題でも、ざっくばらんに話しあえる場も必要でしょう。小生だけでなく、先輩や同じ状況のお母さんの意見も聞けたらと思います。前に話していたお母さん達の集まりを、何とか来年は実現したいと思っています。何をやるわけでも、場所や機会をが提供できればと思っています。前にコンピュータで使っていた**お母さんクラブ**という名前にでもしようかと思っています。気軽に参加できる会で、勉強会なども計画したいと思います。**参加希望の方を募集します**。会費や義務等はありません。気軽に受付まで申し込んで下さい。とりあえずは、登録だけです。

## 11月の感染症の集計



今年は例年に比べて、まだまだ風邪は流行っています。少し嘔吐下痢症が目立ってきています。もちろんインフルエンザはありません。どうも喘息との区別も難しいような気管支炎から肺炎も目立ち、点滴を必要とするお子さんもいます。マイコプラズマ肺炎と確定できるものはありません。相変わらず流行性耳下腺炎は多く、沈静の傾向も見えてきません。ワクチンが不足しているために、ご迷惑をおかけしているようですが、どうも全国的に品不足の状態です。

## 「すこやかさん こんにちは」放送予定

皆さん御存知のように、院長は、教育委員会の家庭教育充実事業の「すこやかさん こんにちは」テレビ育児相談の部長をしています。そのスケジュールをお知らせいたします。放送は、

東北放送で午前10:00～10:30です。

上段はメインテーマ、下段はすこやか健康メモです。

- 12/13(土) おじいちゃん おばあちゃんとひきつけ
- 1/10(土) 「やめて！」と言える子に子どもの便秘
- 1/24(土) 子どもの病気 うそほんど? 先天性代謝異常症
- 2/7(土) 子どもと食事 中耳炎
- 2/21(土) みんな一緒にことばの遅れ

院長の担当は、子どもの病気 うそほんど?です。興味のある方は、ご覧になってください。内容についてのパンフレットがあります。希望の方は受付まで。

## 編集後記

天候も不順な状態で、少し風邪が流行ってきているようです。小生もどうもいまいちという感じです。これから忙しくなる前に、体調を整えなければと思っています。

